



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 株式会社 浅沼組 上場取引所 東・大
 コード番号 1852 URL http://www.asanuma.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅沼 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 本社経理部長 (氏名) 八木 良道 (TEL) 06(6768)5222
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日~平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	56,752	15.5	△3,980	—	△4,008	—	△4,532	—
23年3月期第2四半期	49,131	△24.4	△898	—	△1,163	—	△2,428	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △4,403百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △2,738百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△59 55	—
23年3月期第2四半期	△31 91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	108,959	15,188	13.9
23年3月期	125,878	19,744	15.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 15,138百万円 23年3月期 19,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	2 00	2 00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,700	14.4	△2,540	—	△2,790	—	△3,460	—	△45 46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	77,386,293株	23年3月期	77,386,293株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	1,273,112株	23年3月期	1,270,197株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	76,114,605株	23年3月期2Q	76,123,563株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 平成24年3月期の個別業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	145,260	14.9	△2,840	—	△3,480	—	△45	72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

- ・上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
4. 補足情報	P. 7
四半期個別受注の概況	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、長引く円高や東日本大震災等の影響により、依然として厳しい状況で推移しているものの、被災したサプライチェーンの立て直し等に伴い持ち直しの動きも見られております。

当社グループの主たる事業である建設業界におきましては、公共投資につきましては、震災復旧の影響もあり下げ止まりつつあるものの、依然低水準で推移しております。また、民間投資につきましては、住宅投資が首都圏を中心に持ち直しの動きが継続しておりますが、設備投資は震災直後の落ち込みからは下げ止まりつつあるものの、海外経済の減速懸念等から企業の投資意欲には慎重さが見られ、全体としては引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の受注高は605億7千4百万円で前年同期比微増となりました。また、売上高は567億5千2百万円で前年同期比15.5%の増加となりましたが、売上総損益は東日本大震災等の影響もあり、5億5千8百万円の損失（前年同期利益26億1百万円）となりました。

営業損益につきましては39億8千万円の損失（前年同期損失8億9千8百万円）となり、経常損益につきましては40億8百万円の損失（前年同期損失11億6千3百万円）となりました。

四半期純損益につきましては45億3千2百万円の損失（前年同期損失24億2千8百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(建 築)

受注高は544億5千万円（前年同期比4.1%増）、売上高は478億5千万円（前年同期比19.3%増）となり、セグメント損失は11億3千万円（前年同期利益19億9千3百万円）となりました。

(土 木)

受注高は61億2千3百万円（前年同期比25.8%減）、売上高は65億7千4百万円（前年同期比18.4%減）となり、セグメント利益は1億4千9百万円（前年同期比67.1%減）となりました。

また、「その他」の事業については、売上高23億2千8百万円（前年同期比142.6%増）、セグメント利益3億1千3百万円（前年同期比416.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資 産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて16.3%減少し、880億6千5百万円となりました。これは、工事代金の回収が進み受取手形・完成工事未収入金等が141億4千8百万円減少したことなどによります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、208億9千4百万円となりました。これは、投資その他の資産が5億6千5百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて13.4%減少し、1,089億5千9百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて17.0%減少し、745億3千9百万円となりました。これは、未成工事受入金が26億8千9百万円増加したものの、支払手形・工事未払金等が123億7千6百万円、短期借入金が34億9千6百万円減少したことなどによります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて18.2%増加し、192億3千1百万円となりました。これは、長期借入金が28億6百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて11.6%減少し、937億7千万円となりました。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて23.1%減少し、151億8千8百万円となりました。これは、利益剰余金が46億8千4百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の建設市場の見通しといたしましては、公共投資につきましては、低水準ではありますが、当初予算の執行停止解除や第三次補正予算の策定など、一定の増加が見込まれています。民間投資につきましても、住宅着工戸数の持ち直しなど、前年度に比べると回復すると予想されますが、リーマン・ショック以前の水準に比べると低く、また回復力の弱まっている海外景気等、景気下押しリスクも存在し、引き続き厳しい経営環境が続くと思われまます。

当社グループとしては、このような経営環境のなか、平成23年11月2日に「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」にて業績予想の下方修正を公表いたしました。下方修正に至った要因については当該発表時資料に記載のとおりです。

当社といたしましては、この事実を真摯に受け止め、早期の業績回復に向けて全社一丸となって取り組む所存です。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	25,684	22,336
受取手形・完成工事未収入金等	61,658	47,509
未成工事支出金	12,863	14,406
その他のたな卸資産	1,034	1,003
その他	4,675	3,015
貸倒引当金	△748	△205
流動資産合計	105,166	88,065
固定資産		
有形固定資産	12,586	12,255
無形固定資産	457	404
投資その他の資産		
その他	8,877	9,084
貸倒引当金	△1,209	△851
投資その他の資産合計	7,668	8,233
固定資産合計	20,712	20,894
資産合計	125,878	108,959
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	32,326	19,949
短期借入金	27,312	23,816
未払金	15,053	12,234
未成工事受入金	7,492	10,181
完成工事補償引当金	599	729
賞与引当金	322	113
工事損失引当金	914	2,254
その他	5,836	5,260
流動負債合計	89,858	74,539
固定負債		
長期借入金	7,907	10,714
退職給付引当金	3,619	3,836
その他	4,748	4,680
固定負債合計	16,275	19,231
負債合計	106,134	93,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,419	8,419
資本剰余金	4,641	4,641
利益剰余金	6,316	1,631
自己株式	△135	△135
株主資本合計	19,241	14,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	468	582
その他の包括利益累計額合計	468	582
少数株主持分	35	50
純資産合計	19,744	15,188
負債純資産合計	125,878	108,959

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高		
完成工事高	48,172	54,424
その他の事業売上高	959	2,328
売上高合計	49,131	56,752
売上原価		
完成工事原価	45,725	55,405
その他の事業売上原価	805	1,905
売上原価合計	46,530	57,311
売上総利益		
完成工事総利益又は完成工事総損失(△)	2,446	△981
その他の事業総利益	154	422
売上総利益又は売上総損失(△)	2,601	△558
販売費及び一般管理費	3,499	3,421
営業損失(△)	△898	△3,980
営業外収益		
受取利息	106	207
その他	61	120
営業外収益合計	168	328
営業外費用		
支払利息	370	318
その他	62	37
営業外費用合計	433	356
経常損失(△)	△1,163	△4,008
特別利益		
固定資産売却益	0	204
その他	127	45
特別利益合計	127	249
特別損失		
投資有価証券評価損	120	164
減損損失	438	120
特定工事損失額	—	359
その他	738	28
特別損失合計	1,298	674
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,333	△4,433
法人税、住民税及び事業税	84	87
法人税等調整額	△3	△3
法人税等合計	81	84
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,414	△4,517
少数株主利益	14	15
四半期純損失(△)	△2,428	△4,532

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△2,414	△4,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△323	114
その他の包括利益合計	△323	114
四半期包括利益	△2,738	△4,403
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,752	△4,418
少数株主に係る四半期包括利益	14	15

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

四半期個別受注の概況

① 個別受注実績

	受注高	
24年3月期第2四半期累計期間	60,503百万円	0.2%
23年3月期第2四半期累計期間	60,389	3.2

(注)%表示は、前年同四半期比増減率を示す。

(参考)受注実績内訳

区 分	平成23年3月期 第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		平成24年3月期 第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		比較増減			
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	増減率(%)		
建設事業	建築	官庁	5,022	8.3	9,301	15.4	4,279	85.2
		民間	47,110	78.0	45,077	74.5	△2,032	△4.3
		計	52,132	86.3	54,379	89.9	2,246	4.3
	土木	官庁	4,809	8.0	3,762	6.2	△1,047	△21.8
		民間	3,446	5.7	2,361	3.9	△1,085	△31.5
		計	8,256	13.7	6,123	10.1	△2,132	△25.8
	合計	官庁	9,832	16.3	13,063	21.6	3,231	32.9
		民間	50,557	83.7	47,439	78.4	△3,117	△6.2
		計	60,389	100	60,503	100	113	0.2

② 個別受注予想

	受注高	
24年3月期予想	135,800百万円	2.3%
23年3月期実績	132,757	△2.1

(注)%表示は、前年同期比増減率を示す。

[個別受注実績に関する定性的情報]

第2四半期累計期間の個別受注実績は、前年同期比0.2%増の605億3百万円となりました。部門別では、建築民間、土木官庁・民間が減少したものの建築官庁が大幅な増加となりました。